

かくだ市議会だより



第419回定例会

- 質疑・討論 2
- 常任委員会 3
- 議案審議結果 4
- 一般質問 5～11

角田市議会から

- 宮城県市議会議長会議員研修会 ……12
- 東京都目黒区議会との意見交換会 ……12

【今号の表紙】『2月の角田市』

春が近くなると、角田市では朝もやが多く発生します。
「四方山」から市内を望むと、阿武隈川やH2ロケットが見え、とても美しい光景に出会えることができます。
《撮影》角田市角田 石原 三雄 さん
撮影日：2022年2月16日 場所：四方山

表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト募集」をご覧ください。



第419回 12月定例会

第419回定例会は12月5日から12月23日までの19日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった条例の制定・一部改正、物価高騰対策を含む補正予算などの議案25件を審議し、原案のとおり可決・承認しました。

また、教育委員会委員の任命について同意しました。一般質問では、11人の議員が市政全般にわたり論戦を繰り広げました。

最終日には、意見書提出に関して議員提出議案が2件提出され、原案のとおり可決しました。

一般・特別会計補正予算一覧

Table with 3 columns: 会計区分, 補正額(12月), 補正後の額. Rows include 一般会計, 特別会計 (国民健康保険事業, 介護保険, 産業用地造成事業).

一般会計の主な補正予算項目

Table with 2 columns: 歳入(収入), 補正額. Rows include 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金.

歳出(支出)

Table with 2 columns: 項目, 補正額. Rows include 農業振興事業, 災害等廃棄物処理事業, 産業用地造成事業特別会計繰出金.

議案第76号

一般会計補正予算(第12号)

原油価格高騰対策医療・介護施設等特別応援金支給事業

原油価格高騰の影響を受けている医療機関(病院・診療所・保険薬局)及び介護サービス事業所に対し、応援金を支給するもの。

医療10,050千円、介護7,500千円

園芸農業資材価格高騰対策支援金交付事業

園芸農業者に対し、作付け面積に応じて支援金を交付するもの。

10,556千円

賛成討論……武藤 広一

今回の歳出の主なものは、新型コロナウイルス感染症や物価・燃料価格の高騰に対応するものとして、原油価格高騰対策医療・介護施設等および、障害福祉事業者への特別応援金、園芸農業資材価格高騰対策支援金および、水田農業等資材価格高騰対策事業費補助金の追加である。また、令和4年3月16日発生の福島県沖地震に係るものとして、被災家屋等解体撤去処理費用負担金の増額など所要の補正を行うものでもある。

賛成討論……日下 七郎

原油価格の値上がり等により、産業への影響や市民生活に対する財政支援については当然のことと理解する。しかし、マイナンバーカード普及促進事業負担金は、地方行政のデジタル化に関し、総務省大臣官房審議官が「場合によっては、AIやマイナンバーカード等を活用した無人窓口も実現可能なのではないかと」と第32回地方制度調査会で答申し、窓口行政廃止つながらる恐れがある。また、角田市犯罪被害者等支援条例の財源は宮城県が措置すべきであること、産業用地造成事業特別会計への繰出金は、造成工業用地の塩漬けが懸念されること等から、反対する。

議案第88号

一般会計補正予算(第13号)

番号法対応事業

マイナンバーカード申請サポートを郵便局等に委託するもの。

16,763千円

反対討論……八島 定雄

生涯変わらない番号をつけ、他分野の個人情報と紐づけして利用すること自体、プライバシー権の侵害・危険性あり、必要としない制度に固執し、市民へのカード押しつけしかなない事業はやめるべき。

反対討論……日下 七郎

討論とは、表決の前に議題となっている案件に対して、「賛成」「反対」かの自己の意見を表明するものです。

条例審査

12月定例会では4つの議案が常任委員会に付託(議会の議決に先立って詳しく審査すること)され、審査が行われました。

議案第71号

角田市個人情報保護に関する法律施行条例の制定

地方公共団体の個人情報の保護に関する制度が全国的な統一ルールとなるため、新たに条例を制定し、現行の条例を廃止するもの。

議案第72号

角田市犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者等の支援に関する基本理念などを定め、被害の早期軽減・回復を図り、安全安心な地域社会を実現するため制定するもの。

議案第73号

角田市市税条例の一部改正

入湯税の税率や徴収方法など必要事項を定めるため、改正を行うもの。・宿泊利用者(一泊につき)150円・日帰り利用者(一回につき)50円

なぜ新たに条例を制定し、現行の条例を廃止するのか。

令和3年に個人情報保護に関する法律が改正され、全ての地方公共団体に法律が直接適用されるためである。開示・訂正及び利用停止等の処分、手数料など必要な事項のみを規定し、重複する規定を定める必要はないため現行条例は廃止となる。

制定の経緯について。

国の犯罪被害者等基本法及び宮城県県の犯罪被害者支援条例に基づき制定するものであるが、県の条例で市町村の責務が規定されているものの、支援金の定めがない。宮城県警察や仙台弁護士会からの要請に基づき、角田警察署とも相談し制定するものである。

入湯税は目的税だが、その用途は。

環境衛生施設・鉱泉源の保護管理施設・消防施設・その他消防活動に必要な施設の整備、観光の振興に要する経費に充てることとされており、本市の場合、環境衛生施設の整備であれば排水路などの整備、観光の振興であれば観光パンフレット作成などが考えられる。

議案第74号

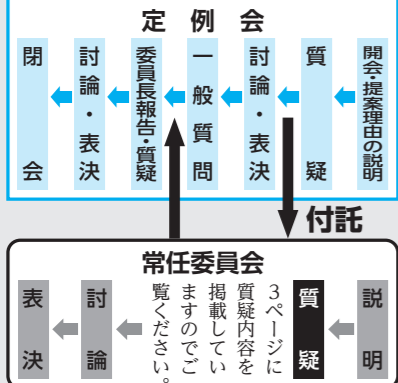
やすらぎの家条例の一部改正等

枝野やすらぎの家の位置を適正な地番に改正し、廃止するもの。

廃止後の活用方法は。

未定であるが、売却も検討している。なお、地元からは廃止以降も景観が保持されるよう要望されている。

議会のギモン



常任委員会ってなに？

議会の内部機関で、市の事務のうち、一定の部門の事務に関する調査や議案の審査を行うための委員会です。現在、角田市議会には「総務産業常任委員会」と「教育厚生建設常任委員会」の2つの常任委員会(定数・各8人)があり、議員はいずれかの常任委員会に所属しています。第419回定例会では、議案第71号から議案第73号までは総務産業常任委員会、議案第74号は教育厚生建設常任委員会に審査をします。

国の関係機関に意見書を提出

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書。最低賃金の水準を確立し、誰もが安心して暮らせる社会基盤の整備を早期に実現するよう、次の内容を国に要望しました。

【内容】

- 1 国民生活の向上のため、生活できる最低賃金にするための大幅引上げを行うこと。
2 全国一律最低賃金制度の確立等、地域間格差を縮小させるための施策を進めること。
3 中小企業への支援策を拡充すること。中小企業負担を軽減するための直接支援として、中小企業とそこで働く社会保険料負担の引下げを実現すること。

来年度(令和5年度)の年金改定では物価の高騰に見合った年金額引上げを求める意見書

物価高に見合う年金引上げを図り、年金生活者の暮らしを維持するための必要な措置を講じるよう、国に求めました。【内容】来年度(令和5年度)の年金改定では物価の高騰に見合った年金額引上げを図ること。

一般質問とは、角田市のさまざまな課題等について、市長や教育長などに対し、事務の執行状況や将来の考えなどを質すことです。質問は一問一答で、議員1人につき30分以内（答弁時間は含めない）で行われます。

質問した議員ごとに要約してお知らせします。（その他の質問の要約は掲載されておりませんので、録画中継の配信をご視聴ください。）

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
戸村眞喜夫	地域資源フル活用について 近隣市町との共同事業について	6
小島 正	県と市道等の路線が重複している場合について 高齢者世帯の大きなゴミの処理について 市民提案型まちづくり事業について 市民活動センターの設立について 「市民がまちづくりの主役となり市民力を発揮する環境づくりを推進すること」について その他の質問 ・かく大企業事業の運営、活動状況について	7
馬場 道晴	市民提案型まちづくり事業について 市民活動センターの設立について 「市民がまちづくりの主役となり市民力を発揮する環境づくりを推進すること」について その他の質問 ・かく大企業事業の運営、活動状況について	7
相澤 邦戸	「健康にいきいき暮らせるまち、健康都市角田」を目指して 「じゅも家庭センター」の設置に伴う角田市の対応について その他の質問 ・「シルバースクール（仮称）」の提案について	7
菅野 マホ	学校給食費の無償化について 難聴者に対する各種支援について その他の質問 ・市民参加のこみ「市内一斉クリーン作戦」等について	8
八島 定雄	角田市長期総合計画条例の議決に関し、地方自治法第96条第2項の規定に基づき「議決すべき事件を定める条例の制定」について その他の質問 ・市道路線番号2062 大和橋島内線の管理に ・島石公園（位置 島田字四拾刈16-3及び17）の取付け道路について	9
日下 七郎		9

ライブ・録画配信を行っています



<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>

インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでもライブ中継がご覧いただけます。

また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。

角田市議会 映像配信 検索

第419回（令和4年12月）定例会

傍聴者数 3人
インターネットライブ中継視聴者数 延べ 210人

インターネット録画中継視聴者数
10月～12月 延べ 417人

質問議員 (質問順)	質問項目	頁
星 隆悦	角田市都市計画マスタープランについて 「道の駅かくだ」について その他の質問 ・保育士（会計年度任用職員を含む）の待遇について ・市職員源泉所得税納付遅延について	9
菊地 利衛	市民の健康を守るために	10
小湊 毅	角田市の食料自給率へ向けた取り組みについて	10
柄目 孝治	新型コロナウイルス感染症対策について 郷土の未来を担う若者の地元定着推進に関して	11

審議結果一覧

賛成と反対がわかれたもの

提出者	議案番号	件名	審議結果 (賛成:反対)	会派一心			市民クラブ		日本共産党 角田市議員		無会派							
				菊地 利衛	小湊 毅	星 隆悦	戸村眞喜夫	星 守夫	小島 正	湯村 勇	日下 七郎	八島 定雄	堀田 孝一	武藤 広一	菅野 マホ	馬場 道晴	柄目 孝治	相澤 邦戸
市長	議案第71号	角田市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	可決 (10:2)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第72号	角田市犯罪被害者等支援条例の制定について	可決 (10:2)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第75号	角田市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第76号	令和4年度角田市一般会計補正予算（第12号）	可決 (10:2)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第79号	令和4年度角田市産業用地造成事業特別会計補正予算（第1号）	可決 (10:2)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第83号	指定管理者の指定について（株式会社まちづくり角田）	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	令和4年度角田市一般会計補正予算（第13号）	可決 (9:3)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

〔表示例〕 ○…賛成 ×…反対 -…退席又は欠席 議長（渡邊 誠）は採決に加わらない。
議…議長欠席により相澤副議長が議長代理となったため、議案第71号、議案第72号、議案第76号、議案第79号、議案第88号の採決に加わらない。

全員が賛成したもの

提出者	議案番号	件名
市長	議案第68号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて（令和4年度角田市一般会計補正予算（第10号））
	議案第69号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて（令和4年度角田市一般会計補正予算（第11号））
	議案第70号	教育委員会委員の任命について
	議案第73号	角田市市税条例の一部改正について
	議案第74号	やすらぎの家条例の一部改正等について
	議案第77号	令和4年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
議員	議案第78号	令和4年度角田市介護保険特別会計補正予算（第3号）
	議案第80号	令和4年度角田市水道事業会計補正予算（第4号）
	議案第81号	令和4年度角田市下水道事業会計補正予算（第3号）
	議案第82号	令和4年度角田市総合体育館屋上・外壁改修工事の変更請負契約の締結について
	議案第84号	仙南地域広域行政事務組合規約の変更について
	議案第85号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正について
市	議案第86号	角田市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について
	議案第87号	職員の給与に関する条例の一部改正について
	議案第89号	令和4年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
	議案第90号	令和4年度角田市介護保険特別会計補正予算（第4号）
	議案第91号	令和4年度角田市水道事業会計補正予算（第5号）
	議案第92号	令和4年度角田市下水道事業会計補正予算（第4号）
議員	議案第6号	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出について
	議案第7号	来年度（令和5年度）の年金改定では物価の高騰に見合った年金額引き上げを求める意見書の提出について



総務大臣感謝状贈呈
議員35年以上
日下 七郎 議員
▲定例会初日に感謝状の伝達が議場で行われました。

皆さんからの陳情
▼最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出を求める陳情
宮城県春闘共闘会議
代表幹事 高橋 正行
執行委員長 小山 功
▼来年度（令和5年度）の年金改定では物価の高騰に見合った年金額引き上げを求める意見書の提出を求める陳情
全日本年金者組合宮城県本部

《再任》毒島 弘美
任期 令和4年12月25日、令和8年12月24日



地域資源フル活用について

戸村 眞喜夫

議員▼第6次長期総合計画の中で、「地域資源フル活用」を施策とし、農業者の耕畜連携による資源循環型農業の推進を引き続き支援するとしているが、その中核事業である農業の館の堆肥生産の運営は心配なのか。畜産農家は、コロナ禍や飼料等の急激な高騰でかなり経営が厳しくなっているが、堆肥の原料となる厩肥（きゅうひ）の安定流入の見通しは大丈夫なのか。

市長▼畜産農家の経営状況を今後も注視することにも、場合によっては必要な支援策を講じて今の体制を維持できるように努めたい。

議員▼現在の良質な堆肥生産は、堆肥製造する技術が素晴らしいからだと利用者が言っているが、

その技術は将来も継承されるようになっていくのか。

市長▼指定管理者である農協としっかり連携して継承できるように努めたい。

議員▼農業の館事業を堆肥製造ばかりでなく、堆肥を活かした事業として、隣接する市民農園管理や隣接する圃場を活用した新規就農者等を対象にした研修農場の設置など多目的に活用する方法を考えると無理はないか。

市長▼まずは市民農園運営等の内容を充実させ、今後検討していきたい。

近隣市町との共同事業について

議員▼11月末に角田市議・会派一心4名と丸森町議員有志3名とで伊貝

高校1年生12名とフリー

トーク形式で懇談会を開催したところ、高校生目線で様々な意見が出て、最もだと思ふ意見があった。「角田市と丸森町で協力してイベントなどを企画しているのか、一緒にやれば素晴らしいことができるのではないかと」というものである。丸森町には角田市にない観光資源が多くあると思うが、伊貝高校生が言うように、お互い協力してイベントなどを実施すれば、伊貝管内がもっと活性化すると思うが、市長の考えを問う。

市長▼阿武隈川のいかだ下り大会など過去の共催イベントの実績を通じて、協力できる素地や共同意識は今もあるもので、いろいろな形で検討したい。



高齢者世帯の大きなゴミの処理について

馬場 道晴

センターまで運んでくれる改善策について問う。

市長▼今後、高齢者の方などごみ出しが困難な方々に対して何らかの支援体制が必要になると思われる。潜在するごみの量の調査、回収方法、支援の在り方など実施の可否も含め検討したい。

議員▼有料チケットなどを作り、それを利用者が購入し予約して、自宅まで回収に来てくれるような、さまざまな方法を考えて欲しい。③80歳以上の独り暮らし世帯には市の支援補助や無料回収など、ぜひ検討してほしい。④この内容である。

市で年に一、二回、回収日を決めてごみ処理センターまで運んでくれることをお願いしたい。②有料チケットなどを作り、それを利用者が購入し予約して、自宅まで回収に来てくれるような、さまざまな方法を考えて欲しい。③80歳以上の独り暮らし世帯には市の支援補助や無料回収など、ぜひ検討してほしい。④この内容である。

議員▼仮に有料チケットを作った場合、低所得者（非課税世帯）は補助または無料にできないか。

市長▼仮にそうなれば生活保護世帯などに、減免制度を設ける措置は可能と考える。

議員▼高齢者が大きなごみを処理しやすいさまざまな方法を考えて欲しい。市長▼本市でも、シルバー人材センター事業で、通常の「ごみ出し支援サービス」を提供している。また、ごみ出し支援を行う地域の団体に奨励金を交付する方法などが考えられる。

今後、各種制度を検討し、ごみ出し以外にも地域で支援を必要としている世帯があれば、地域共生社会実現に向けた包括的な支援体制の構築を図り、課題の解決に努めたい。



県と市道等の路線が重複している場合について

小島 正

議員▼重複している県道と市道等（歩道を含む）に被害があった場合の復旧方法について問う。

市長▼重複路線の復旧は、県道の管理者である県大河原土木事務所が行う。議員▼角田市で速やかに復旧し、要した費用を県に請求できるのか。

都市整備課長▼県の対応となる。議員▼県道越河角田線と市道君菅小田線の重複箇所では、交通事故が多発している。道路を拡幅する考えはあるか。

市長▼管理者の県大河原土木事務所では、現時点で拡幅の整備予定はないとのことだが、この区間は小田川の改修に伴い整備予定であるため、河川改修の事業促進を要望していく。また、角田市で

も市道に注意喚起の路面標示などの対策を実施していく。

議員▼県道越河角田線と市道南町斗蔵線は重複箇所がある。県と角田市のどちらかで管理すれば、財政負担を軽減できるのではないか。

市長▼過去に検討したことはあるが、その状況に至らなかった。なお、管理者は県となる。

議員▼小田浄水場の堰堤（えんてい）は、小田川の第二の堤防と言えなくなっている。県と角田市の対応について問う。

市長▼当該堰堤は、現在、廃止に向けて県大河原土木事務所と協議中であり、取水施設の堰堤部に堆積している土砂の撤去については、今後、協議を進めていきたい。



市民提案型まちづくり事業について

相澤 邦戸

議員▼採用されたのは何件でその内容は何か、また、その後どう支援していくのか。

市長▼応募1件で一次書類審査採用が1件。内容は台山公園で継続的集客イベントを実施する事業。今後二次審査のためのワークショップを開き、令和5年度に実施展開していく。

市民活動センターの設立について

議員▼市民活動のステップアップ、活動しやすい環境づくり、活動の推進のための設立としているが、その進捗状況と内容について問う。

市長▼令和5年度は情報収集、先進地視察、アンケートをとる。令和6年度は運営方法、設立場所の決定。令和7年1月に設立、4月より供用開始。設立目的の一つは市民目

議員▼①市道大沼西堤防線、②排水設備の改善策について、市長の考えを問う。

市長▼令和3年4月に角田市国土強靱化地域計画5月に角田市防災・減災構想を策定し対応をしている。①は角田市防災・減災構想で、かさ上げ改良を令和8年度に着手する計画である。②は小田川の改修及び内水の強制排水のため排水ポンプ場の整備が必要と認識しており、関係機関に働きかけている。

議員▼市道大沼西堤防線の強靱化は急務と考えるが。

市長▼流域治水の必要性について、関係機関に要望等を引き続き行っていく。

線での地域課題解決型のまちづくりで、活動団体の設立、運営、活動を支援し、それぞれを結びつける仕組みづくりの機能を持たせたい。

議員▼他の自治体では設立の可否を含め設立前から市民と行政の話し合いを行い、設立に関し常に市民主導で、行政はそれを支援している。市長の考えを問う。

市長▼同様に考えている。市民の意見を十分に取り入れた形で作っていく。

「市民がまちづくりの主役となり市民力を発揮する環境づくりを推進する」ことについて

議員▼市民力を発揮する環境をつくるには、行政としての大きな基礎づくりが必要。本日質問の事業でも、単独としてではなく横断的に連携し合うことが必要であると思う



「子ども家庭センター」の設置に伴う角田市の対応について

菅野 マホ

「健康にいきいき暮らせるまち、健康都市角田」を目指して

議員▼角田市の高齢化状況について問う。

市長▼65歳以上の人口は、令和4年11月30日現在で1万1922人、高齢化率は37.29%である。9月末現在の要介護認定者数は1,734人であり、今後確実に増えていく。

議員▼市民より相談を受け、市内外のリハビリ施設等を調査した。現在市内に運動機能回復に特化した通所リハビリテーション施設がないため、他自治体に頼らざるを得ない状況であること、また包括支援センターへ市内施設より厳しいご意見を頂いていることについて問う。

市長▼地域密着型介護事業所はないが、2力所で運動機能訓練が行われていると認識している。包括支援センターについては、反省と共に対策を講じていかねばならない。

議員▼今後は、市が理学療法士等の人材を採用することにより、総合体育館や自治センター等の施設で専門的なサービスが可能となると考える。また、市内の既存施設において機能回復訓練を別メニューで提供することや実績のある通所リハビリテーションの誘致を行う等、あらゆる方法で自立支援体制を拡充すべきではないか。



▲(仮)「通所リハビリテーション in 総合体育館」

市長▼今後、アンケートの実施やケアマネジャー等へ聞き取りを行い、運動機能訓練サービスの在り方を検討する。近隣自治体の事例を参考にしながら、よりよい「包括ケアシステムづくり」に邁進したい。



学校給食費の無償化について

八島 定雄

議員▼市長の公約どおり、学校給食費の無償化実現に向けて、市民に提案すべきときではないか。

市長▼角田はっぴい子育て助太刀プロジェクト会議、角田市政策推進会議、角田市子ども・子育て会議を経て、プロジェクト事業がまとまった。既に医療費の無償化を行っているが、これに加えて「第2子以降の子どもを増やす」をコンセプトに掲げ、出産祝い金の第2子以降の拡充、保育料の第2子以降無償化、学校給食費の第2子以降無償化の3事業を子育て支援の柱に据え、切れ目のない支援に取り組む。それは短期的な施策であるため、中・長期的な施策についても組み込むことを現在検討している。

議員▼令和5年度当初予算で事業の詳細を示すとのことだが、第2子以降は無償とする考えなのか、説明を求めます。

市長▼第2子以降、第3子、第4子も含めて無償にしていく。上限は18歳の兄弟がいる場合には、例えば一番上の子が18歳になるまでは、その下の第2子以降は全て無償化にしたい。

議員▼少し前進したと思えるが、対象を絞ることや子ども1人の場合は不公平とも受け取れる。どのような議論がされたのか。

市長▼御父兄より、当然この内容についての話があった。今後、中・長期的に解決すべき課題と考え、解決に向けて努力をしていきたい。

議員▼「子育てしやすいまちナンバーワン」実現のためにも、新生児聴覚検査への助成の導入について検討する考えはあるか。

市長▼今後、調査研究をしていきたい。

議員▼「子育てしやすいまちナンバーワン」実現のためにも、新生児聴覚検査への助成の導入について検討する考えはあるか。



角田市長期総合計画条例の議決に関し、地方自治法第96条第2項の規定に基づき「議決すべき事件を定める条例の制定」について

日下 七郎

議員▼平成23年8月1日施行の改正した地方自治法第2条第4項で「議会の議決を経て基本構想を定めること」の義務付けが削除されたが、引き続き角田市が「基本構想」をもって市政運営をするならば、まず、地方自治法第96条第2項の規定に基づき「議決すべき事件(長期総合計画基本構想を議決)を定める条例の制定」をし、次に、「議決すべき事件を定める条例」の規定に基づき、角田市長期総合計画基本構想(案)を議会に提出すべきと考える。

市長▼今年度、無園児はゼロ。ヤングケアラーは7人だが、実際はもっと多いと推測している。早期支援につながるよう取り組むたい。

議員▼「健康にいきいき暮らせるまち、健康都市角田」を目指して

市長▼65歳以上の人口は、令和4年11月30日現在で1万1922人、高齢化率は37.29%である。9月末現在の要介護認定者数は1,734人であり、今後確実に増えていく。

議員▼市民より相談を受け、市内外のリハビリ施設等を調査した。現在市内に運動機能回復に特化した通所リハビリテーション施設がないため、他自治体に頼らざるを得ない状況であること、また包括支援センターへ市内施設より厳しいご意見を頂いていることについて問う。

市長▼地域密着型介護事業所はないが、2力所で運動機能訓練が行われていると認識している。包括支援センターについては、反省と共に対策を講じていかねばならない。

議員▼今後は、市が理学療法士等の人材を採用することにより、総合体育館や自治センター等の施設で専門的なサービスが可能となると考える。また、市内の既存施設において機能回復訓練を別メニューで提供することや実績のある通所リハビリテーションの誘致を行う等、あらゆる方法で自立支援体制を拡充すべきではないか。

市長▼今後、アンケートの実施やケアマネジャー等へ聞き取りを行い、運動機能訓練サービスの在り方を検討する。近隣自治体の事例を参考にしながら、よりよい「包括ケアシステムづくり」に邁進したい。

議員▼令和5年度当初予算で事業の詳細を示すとのことだが、第2子以降は無償とする考えなのか、説明を求めます。



角田市都市計画マスタープランについて

星 隆悦

議員▼2力年策定となる「都市計画マスタープラン」は、角田市の将来の都市像と実現のプロセスを示し、冊子にした「長期総合計画」ともに大事な計画である。

市長▼県で平成18年度から小田川の河川改修事業が再開されたことに併せて、車両の円滑な通行、自転車・歩行者の安全を確保するため整備を進めている。事業費は、平成22年度から令和3年度までに約17億4,700万円、令和6年度完成までの総事業費は19億5,700万円を見込んでいます。

議員▼市は、広報かくだ11月号で、来場者数が300万人を超え3年目の黒字を達成したと述べている。運営している株式会社まちづくり角田の決算書では、107万円の黒字になっているが、営業損失は40万6千円で、

町野田前線の整備となり、建設中の住居橋から北側(台山公園方面)に延伸する。

議員▼中島上市営住宅建て替えを含む土地利用と旧角田女子高跡地利用の将来構想を問う。

市長▼中島上市営住宅用地は、建て替え用地として活用し、余剰地となった場合の利活用は検討していく。旧角田女子高跡地は、所有者の県が明確な方針や活用について示していない。

議員▼市長は、広報かくだ11月号で、来場者数が300万人を超え3年目の黒字を達成したと述べている。運営している株式会社まちづくり角田の決算書では、107万円の黒字になっているが、営業損失は40万6千円で、



市民の健康を守るために

菊地利衛

「市民の健康を増進するため」

議員▼急速に進む高齢化社会で、健康増進し健康寿命を延伸するために、気軽に、楽しく、日常的にできる軽運動を習慣化することが有効だ。公民館等を活用した軽運動を推進できないか。

市長▼現在、スポーツ推進委員などを地域に派遣する取組などがある。定着するよう進めたい。

議員▼阿武隈川堤防もウォーキングの利用者が多いが、左岸（市街地側）には駐車場や休憩施設、トイレもない。ちょっとした河川公園を設ければ、憩いの場として利用する人も増える。

市長▼財政負担を伴うので、整備の予定はない。

議員▼台山公園を中心としたウォーキングコースの整備も健康管理に有効だ。

市長▼整備を研究していきたい。

議員▼斗蔵山ハイキングコースの整備も健康管理に有効だ。気軽に、楽しく、日常的にできる軽運動を習慣化することが有効だ。公民館等を活用した軽運動を推進できないか。

市長▼森林環境譲与税などの活用も含めて、整備に向けた検討をしていく。

議員▼四方山も宮沢側から「めぐろエコ」を経由して山頂に至るトレッキングコースを設けることで、健康管理や桜の花見などに活用しやすくなる。

市長▼目黒区から「めぐろエコ」の森の面積拡張の相談もあるので、併せてコース設定も検討したい。

方で、自己負担額が少ないほど接種率が高い傾向にあり、ゼロまたは減額すべきだ。

市長▼接種しない人との負担の均衡も必要。周辺自治体等の状況を踏まえ検討する。

「新型コロナウイルス感染症にかかるとの情報発信について」

議員▼角田市内における新型コロナウイルスに関する情報を市民にもっと発信すべきだ。

市長▼県に対して要請したが、制度上難しいとの回答であった。

「健康都市宣言(UN)」

議員▼角田市も「健康都市」を宣言し、市をあげて健康づくりをすると強い意志を市民と共有することが重要だ。

市長▼市民の意識改革（健康を考える・健康づくりに取り組む）のため、検討する価値はある。



新型コロナウイルス感染症対策について

柄目孝治

議員▼11月に入ってから本市役所窓口を中心として100人近くに及び感染者数の報告があった。市独自の調査・状況分析特に、ワクチンの接種・未接種状況なり感染症状の差異はどのように掌握されているのか。

市長▼調査の結果、感染経路の特定に繋がるものはなかった。ワクチンはほとんどの職員が接種している。接種済みの職員も感染したが、重症化には至っていないようであり、接種の効果はあったと認識している。

議員▼ワクチン接種をする・しないにかかわらず、いずれは感染するという感覚で、次善策として医療に依存するほかに、発熱外来をはじめ必要な医療を即時に受けられる仕組みの整備と支援が必要と思うが、見解を問う。

市長▼新型コロナ対応医療に関しては、「新型インフルエンザ等対策特別措置法」に基づき、県知事から医療関係者に協力を要請することになっている。本市では、市内3医療機関が発熱外来に当たるほか、「かかりつけ医」も対応に当たり、新型コロナウイルスに対する医療体制は、一定程度整備されていると考えている。

議員▼我々国民市民は感染防止に懸命な努力と我慢の日々を送り、しかも行動制限のない年末年始を迎えるにあたり心配は尽きず、命の瀬戸際でないかと推察する。こうした状況の先取り察知に配慮し、安心な体制を整えるべきことを希望する。

市長▼これまでも、市長も若者の地元定着に「危機感をもって仕掛けるべき時は今だ」と述べてきた。

議員▼これまで、市長も若者の地元定着に「危機感をもって仕掛けるべき時は今だ」と述べてきた。

市長▼積極的採用の道を開くことを研究の上、対応していきたい。



角田市の食料自給率へ向けた取り組みについて

小湊毅

議員▼コロナ禍、ウクライナ侵攻により、人・物の流れが混乱し、石油価格・食料価格の高騰が続いている。エネルギー安全保障や食料安全保障は、国の政策であるが、地方自治団体としても、可能なものについては積極的に取り組むべきである。

市長▼食料自給率の向上を考えた際に、家畜の飼料の輸入割合（約75%輸入）の大きさについて考えなければならぬという思いがあり、市としても何かできるのではないかと考えている。

議員▼阿武隈川の土手を牧草化することを検討いただきたい。

市長▼阿武隈川河川敷地の堤防は、河川法の適用により、占用しようとする場合には国の許可を受けなければならない。河川敷地占用許可は、河川本来の機能を阻害するよ

うな、堤体の牧草化での占用は認められていない状況である。ハードルは高いが、探る、働きかけのことは有効だと思うので、少し時間を頂きたい。

議員▼耕作放棄地の牧草化など、家畜の飼料としても積極的に取り組むべき。

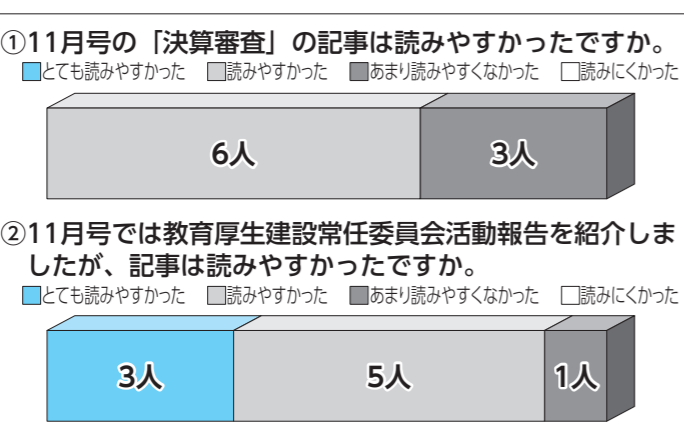
市長▼耕作放棄地の解消は、地域農業の持続性を確保するためにも引き続き取り組まなくてはならない課題と認識しているので、農業委員会と連携し、地域と話し合いを進め、利活用に向けた検討を進めていく。やるべきこととして検討していく。

議員▼木材を微粉砕、細かく砕いて飼料化する技術ができています。角田市

としても取り組むべき。市長▼木材を利用することから、森林資源を活用しつつ、自給率を向上させることが見込まれる。ただし、県内での事例はほとんどなく効果のほども正確には把握していない。どの程度、代替できるものか、畜産農家とも相談しながら検討したい。行政が率先してやるべきかという懸念はあるが、飼料関係の業者、企業とタッグを組んでやらなくてはいけないし、興味を持ってもらう必要がある。今、企業誘致等々しているので、資源フル活用というところで、そういったアイデアと資源があるということ、お招きしてくるといふこともあろうと思う。研究をさせていただきます。

議会だより 第219号(11月号) アンケート結果

9名のモニターの皆さまに議会だよりに関するアンケートを依頼し回答いただきました。アンケート結果の一部をお知らせいたします。詳細は市議会のホームページをご覧ください。



アンケート結果とモニターの皆さまからご意見を参考に、議会だより編集会議において、引き続き紙面構成について検討してまいります。

議会日誌

- 10月 28日 議会運営委員会行政視察・議会運営委員会
- 8日 会派代表者会議
- 14日 第419回定例会招集告示・会派代表者会議
- 11月 1日 かくだ市議会だより第219号発行
- 12月 1日 議員協議会・議会運営委員会・議会だより編集会議
- 5日 本会議(第1日)・会派代表者会議
- 7日 議会運営委員会
- 15日 本会議(第2日)・会派代表者会議
- 16日 総務産業常任委員会・教育厚生建設常任委員会・議会だより編集会議
- 19日 議会運営委員会
- 20日 本会議(第3日)・議員協議会
- 22日 本会議(第4日)・議会運営委員会
- 23日 本会議(第5日)・議会運営委員会・議会だより編集会議
- 1月 1日 かくだ市議会だより第220号発行
- 17日 議員協議会・議会運営委員会
- 20日 議会だより編集会議

宮城県市議会議長会議員研修会

11月15日、かくだ田園ホールを会場に、早稲田大学 マニフェスト研究所 ローカル・マネージャー（兼）招聘研究員 長内紳悟（おさない しんご）氏を講師として迎えて、「議会におけるICT活用とデジタル活用の可能性」をテーマに研修会が行われました。

議会は、デジタル（根拠・データ）に基づいた議論（話し合い）が不足している、デジタルを活用した政策立案・決定するために議論のあり方・規則などのルール・議員の意識の3要素について、見直しをする必要があるとの説明に、参加者は聞き入っていました。



【写真右上】研修会
【写真右下】長内講師



友好都市

東京都目黒区議会との意見交換会



12月26日、東京都目黒区議会から宮澤宏行（みやざわ ひろゆき）議長はじめ、区議会議員10名が来角し、自然災害の対応について意見交換が行われました。

令和4年3月に発生した福島県沖地震と令和元年東日本台風との違いや災害時の避難所開設について角田市の状況を説明したほか、意見交換会終了後には、被害を受けた郷土資料館などの視察を行いました。

【写真左上】意見交換会
【写真左下】郷土資料館

編集後記

昨年も様々な出来事がありました。最も衝撃的だったのは、ロシアのウクライナ侵攻でした。このような国際情勢の変化に対し、国は軍事費増、敵基地攻撃能力の保有、経済安全保障などを進めています。日本の平和が維持できないような事態になれば、市民生活の向上、地方自治の発展、地域経済の活性化はあり得ません。武力によって国際紛争を解決しようとするのではなく、武力行使を防ぐための「平和外交努力」を率先して進めて欲しいものです。

少子化に歯止めがかからず、高齢化が急速に進んでいます。そのような中で、国は全世代型社会保障を打ち出しています。昨年の社会保障審議会で、介護保険制度の見直しに関する検討項目が示されました。そこには、要介護1、2の介護保険からの切り離し、本人2割負担者の拡大、ケアプランの有料化等が並んでいます。もし、このような内容で改定されますと、ここ角田の地域で安心して暮らし続けることが困難になってしまいます。

市民の皆様の様々な疑問・課題を議会で取り上げ、その審議の結果を分かりやすく伝える議会だよりとするよう研鑽に努力してまいります。

議会だより編集会議 副会長 八島 定雄

2月定例会の予定

会期

2月17日(金)～3月15日(水)

本会議の日程（午前10時開会）	
2月17日	提案理由の説明
28日	質疑・自由討議
3月7日	会派代表質問・討論・表決
13日	一般質問
14日	一般質問
15日	最終日

●予算審査特別委員会は2月28日、3月2日・7日・9日・10日に開催

※日程は変更になる場合があります。
※本会議と予算審査特別委員会はライブ配信（QRコードは5ページ）を行います。